

# 安全エッジの取り付け手順

## 取扱説明書原文の翻訳

取り付けを開始する前、または保護するエッジを準備する前に、次の安全上の注意を守ってください:

- 作業を開始する前に、システムの電源を切ってください。
- システムの電源を入れ直さないようにするため、システムを保護する必要があります。
- 次に、ライブでないことを確認する必要があります。
- フェーズはアースして短絡する必要があります。
- 隣接するライブコンポーネントをカバーするか、ブロックする必要があります。

### 安全についての案内

- 標準EN12978、EN ISO 13856-2、EN954-1の知識はインストールの前提条件である。
- システムの取り付け、始動、改造、および改造は、専門家が行ってください。
- 貿易協会が発行した安全規則と電気設備の安全規則を考慮する必要があります。
- 安全規則を遵守しないと、重傷または重大な傷害または重大な財産への損害が発生する可能性がある。
- さらに参考のためにこれらの指示を利用可能にする。

### 安全システム

安全システムは、常にスイッチングデバイスと終端抵抗付き安全エッジで構成される。BBC Bircher AGの安全エッジシステムは、標準EN954-1で定義されている安全カテゴリ2または3に対応している。

### 処理そして保管

#### 提案される

- 理想的な保管温度0°C~40°C (32°F to 104°F)
- 理想的な保管: 乾いた、きれいで平らな
- 付属のパッケージの安全エッジを設置場所に移送する

#### 許可されないこと

- 安全エッジの大幅な曲げ
- 安全縁を垂直に保管する
- 極端な温度変動
- 屋外保管
- ケーブルによる安全エッジの引き出し
- パッケージ化せずに安全エッジを積み重ねる

- ① 平らな面にのみアルミレールを取り付ける。曲げ半径の最小値に注意してください
- ② 推奨穴間距離= 300 mm (11.81")
- ③ アルミレールは、平らなネジで固定する必要がある。
- ④ ケーブルを入れる穴を準備する。バリを穴に入れ、グロメットを挿入する。
- ⑤ プロファイルフットとアルミレールに水または石鹸水を塗布する。油や潤滑剤は使用しないでください。片側の足をアルミレールに置く。反対側を押して挿入する。
- ⑥ アルミレールにエッジを全長にわたってスライドさせないでください。セーフティエッジをスライドダメージとして挿する(Tフットのプロファイルには有効ではない)
- ⑦ 設置後、オームメーターまたは音響装置で適切な機能が得られるように安全端を確認してください。(終端抵抗を使用する場合、一部のデバイスは動作しない場合がある。)

